

金田町人の動き

S-45年8月31日現在  
 世帯数 2,159  
 人口 8,873  
 男 4,302  
 女 4,571  
 出生 18  
 死亡 46  
 転入 5  
 転出 1

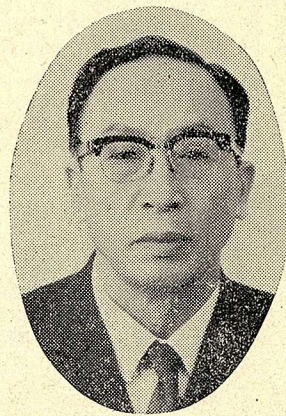
# かなだ

第108号

金 田 町 報  
 発行所 金田町中央公民館  
 編集兼発行人 原 田 豊 茂  
 印刷所 九州機関紙印刷所  
 電 話 093 4 4 6 1

## お正月を迎えて

町長 大島 六郎



金田町の皆様、明けましてお芽出度う御座います。犬の年もあつという間に私達の手の届かない処に逃げ去ってしまいました。今更らどんなにもがいても後もどりにしてはくれません。毎年お正月を迎える度に、今年こそは、と力んでみましたが、何等の成果もあげ得ないまま、年の瀬に追い詰められてしまいます。なんという愚かな事でありましょう。その愚かさを六十回以上も繰り返してしまいました。

今年猪の年でありましたが、まっすぐに突進する者を猪武者といっています。その猪武者となって、まっすぐに突き進まなければ何事も成就しないものと思っております。そこで、今年こそはその猪にあやかって大いに馬力をかけたいと念じていますが、何と致しましても微力の私には、町民全体の御支援がなければ、御期待に添えないものであります。どうぞ皆様、今年もよろしくおねがい申し上げます。

走の月の十日、下田川の消防署が完成しました。即日防署が完成しました。即日より常備の消防員が、朝も昼も晩も、昼夜の区別なく皆様の災害なきよう張り番をして下さっています。万一火災の時は水をいっぱい積み込んであるタンク車が、いち早く駆けつけます。事故の場合は何の事故も発生しては、直ちに待機している急救車が駆けつけます。そして病院に直送します。

また、皆様の生命を支えた余り物も、今年の三月に完全処理が出来るようになります。下田川四ヶ町の共同尿処理場が弁城地区に完成致します。これで皆様が、いくら食べられても心配はなくなりませう。私が就任当時は捨場を止められて

随分御迷惑をおかけしました。一時は途方に暮れたものです。世の中はいいもので、助ける神もあります。年賀状を戸別に差上げましたが、印刷の文字だけでは気が済みませんので、一筆、乱筆を加えました。猪の 春がくるなり

除夜の鐘  
 甚だ愚作ですが、私の心だけを汲み取って戴けば幸いです。なお比島敗戦中にカガヤン溪谷でものした漢詩を御紹介致します。御笑読下さい。

懐巴列はれはす  
 本おもち帝巴須  
 旭日燦然照萬峰  
 千墨猶寂未覺眠  
 巴列帝嶮世無比  
 誰能守成孤獨峻  
 仰屍充山俯埋谷  
 腐臭溢地鬼神咽

裂破戎衣滿天  
 絶劍遙望故国天  
 旭はさんぜんとして萬峰を照らし  
 千るいなおせきとして眠りより覚めず  
 パレテの嶮、世にたぐいなきも  
 誰かよく守り成さん孤独の嶮  
 仰げばかばね山にみち、ふせば谷を埋む

襲撃にたえ忍んで陣地を守り抜いてきたが、日々の激斗に部隊の人員はやられて補充兵も死に絶え、遂に切込みから唯一一人血にまみれて、やっと陣地に逃れてみると、夜もようやく明け、山の端の旭日の光りに、惨憺たる屍が、弾で耕された山肌や谷を埋めている状況を見ながら、剣を杖に、祖国の空を仰ぎながら、戦友

## 成人式御案内

新しく成人になった青年諸君の前途を祝い励ますために、一月十五日午前十時より中央公民館において、昭和四十五年度成人式を挙行いたしますので、左記該当の方はぜひ御出席下さるよう御案内申し上げます。

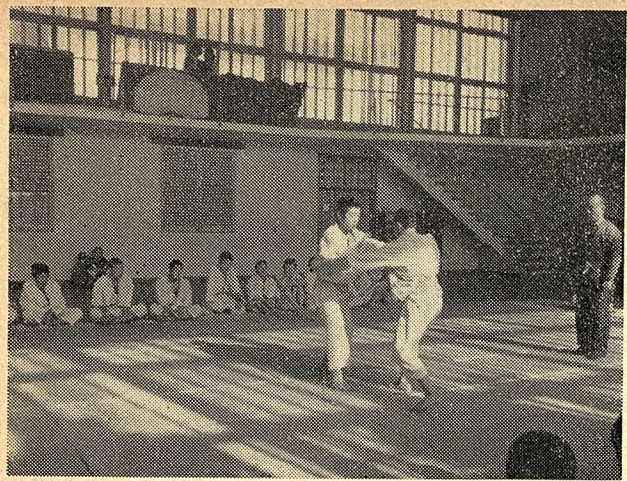
該 当 者  
 昭和二十五年四月二日  
 より昭和二十六年四月一日までに生れた方。  
 出席の際は訪問着など華美な服装はさけ、なるだけ簡素な服装で参加して下さい。時間励行をとお願ひします。

中央公民館

腐臭地にあふれ、鬼神もむせぶ  
 裂破のじゆうい満身の傷にすがりて遙かに故国の天を望む  
 非常に駄作ですが、溪谷で、竹の柱に茅の屋根の病床に転んでいる患者の話を、感動の余り作成したものです。  
 この駄作は、パレテパスの天嶮を六カ月に亘り、敵の襲撃や砲撃、或は戦車の



- あけましておめでとう
- 名譽公民  
 宇都宮 節  
 政光儀七郎  
 中村岩四郎  
 宮本 政兼  
 大島 六郎  
 金山 玄暉  
 香月 豊  
 植高 滝間  
 吉田 広三  
 吉田桃太郎  
 村上 渡  
 辰島 芳春  
 稲富 幹雄
- 町議会議員  
 議長 竹本あきら  
 副議長 松本 雪雄  
 議員 清水 義雄  
 中村 正  
 守田 保  
 池長 幸吉  
 大島 陸雄  
 大井 政則  
 植高勇太郎  
 浦田 由光  
 松垣 米蔵  
 辰島 保  
 池田 升雄  
 吉田 志郎  
 井上 明  
 藤元 俊治



次を時代の担う青少年を健全に育成することの重要な、次第に世間に認識されてまいりましたが、金田町青少年問題協議会では、本町青少年の心身を鍛え、強く明るく育成する一助に、去る十一月二十九日、第七回金田町青少年柔剣道大会を、金田中学体育館において開催致しました。

昔から僧老同穴という言葉があります。あなた百までわしゃ九十九まで、夫婦そろって長生きするのが私たちの願いであります。

- 御芳志ありがとうございました
御前祭後援会
御尊父繁次様の香典返しとして教育後援会へ

兄弟喧嘩の原因と、その移り変わり
争いというものには絶えないものですが、こういう原動力が常に発動の準備体制を整えていたことからも、兄弟喧嘩は乳児時代からあります。

おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜くこととする青年を祝いはげます。
二月十一日 建国記念の日
三月二十一日 春分の日
四月二十九日 天皇誕生日
五月三日 憲法記念日
五月五日 こどもの日
十一月二十三日 勤労感謝の日

御前祭後援会
御尊父繁次様の香典返しとして教育後援会へ
それぞれ御寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 補完員
有線放送電話事業運営委員
教育委員会
公民館運営審議会

金田町 青少年柔剣道 大会行なわる

にっこにっここと みんなで掃除 家庭の日

兄弟喧嘩の原因と、その移り変わり
争いというものには絶えないものですが、こういう原動力が常に発動の準備体制を整えていたことからも、兄弟喧嘩は乳児時代からあります。

おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜くこととする青年を祝いはげます。
二月十一日 建国記念の日
三月二十一日 春分の日
四月二十九日 天皇誕生日
五月三日 憲法記念日
五月五日 こどもの日
十一月二十三日 勤労感謝の日

- 補完員
有線放送電話事業運営委員
教育委員会
公民館運営審議会

兄弟喧嘩の原因と、その移り変わり
争いというものには絶えないものですが、こういう原動力が常に発動の準備体制を整えていたことからも、兄弟喧嘩は乳児時代からあります。

おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜くこととする青年を祝いはげます。
二月十一日 建国記念の日
三月二十一日 春分の日
四月二十九日 天皇誕生日
五月三日 憲法記念日
五月五日 こどもの日
十一月二十三日 勤労感謝の日

- 補完員
有線放送電話事業運営委員
教育委員会
公民館運営審議会

兄弟関係 (2)

青少年問題協議会

祝日には 国旗を掲げましょう

中央公民館

国旗は国のしるしであり、象徴であります。国民の祝日に関する法律
第一条には、自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民

おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜くこととする青年を祝いはげます。
二月十一日 建国記念の日
三月二十一日 春分の日
四月二十九日 天皇誕生日
五月三日 憲法記念日
五月五日 こどもの日
十一月二十三日 勤労感謝の日

- 補完員
有線放送電話事業運営委員
教育委員会
公民館運営審議会